

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 059	提案機関名 神奈川県畜産会
要望問題名 神奈川らしい雌系統豚の改良	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 都市化の進む都市近郊の畜産経営において規模拡大して生産を増やすことは敷地面積や環境面での課題があるため困難な場合が多い。そうした環境において生産効率を高め、生産コストの低減につながる多産系種雌豚の導入は経営的に大きな役割があるものと考えられる。しかしながら中には大型体形でストール飼育に耐えられないものや、発育重視で肉質評価に疑問が残るもの、市場評価（格付けや買参人からの評価）が低くなるものも見受けられる。 消費地でもある神奈川では連産性が高く肉質肉量の優れた多産系の種雌豚を活用することで1母豚当たりの出荷頭数を増やしながらか、市場、買参人や大手バイヤー、対面小売り、外食産業等にも高く評価される品質の高い豚肉を生産していくことが都市の中で生き残っていける、足腰の強い経営基盤を作ることに繋がると考えられる。神奈川らしい多産系系統品種の確立について研究してほしい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 系統豚を利用した改良型種豚の開発(H29～H33)		
対応の内容等	ご要望の内容に関連して、平成29年度から実施している上記試験では、民間の持つ優良多産系種豚の情報収集に努め、種豚の精液等を用いて「ユメカナエル」との交配により、市場性の肉質評価が高く、かつ本県の飼養に適した改良型多産系種豚の開発に取り組んでいます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			